

東京都中央卸売市場の部類別取扱金額

コロナ禍の東京市場

青果は影響受けず

水産、食肉は減少続く

今年春以降、新型コロナウィルスは生鮮食料品流通にも大きく影響している。5月ほどではないものの

東京都中央卸売市場の取扱肉もほぼ同様。花きは4月に大きく減少したものの、その後は持直している。これに対して青果は、天候不順による市況高も後押しして取扱いについては全く影響を受けず、9月は若干減少したものの、10月も1割以上増加した。

予想されている。市況安の中で、「試食ではない販方法」も求められよう。そのような状況下での販促対策をサポートするサービスも登場。一例を挙げるとインバクトホールディングス(東京都渋谷区)では、デジタルサイネージによる販促サービスを提供している。

試食ができない中市況安下の販促は

まず「デジタル推奨販売」では、マネキンによる短いPR動画が、人感センサーにより客が売場に近づいたタイミングで始まる。性別・年代別で動画を分けることもできる。また「オンライン推奨販売」では、離れた場所にいる販売員と客が、モニターを通じてコミュニケーションする。調理のデモンストレーションや、産地や卸売市場からのライブ放映も可能だ。

東京都中央卸売市場月報より(単位:千円=単位以下切捨て、%)

	青果			水産			花き			食肉		
	2020年	2019年	前年同月比	2020年	2019年	前年同月比	2020年	2019年	前年同月比	2020年	2019年	前年同月比
9月	46,369,362	47,720,319	97.17	30,237,625	32,808,139	92.17	7,398,770	7,817,197	94.65	9,808,848	10,347,433	94.79
8月	53,374,289	46,628,643	114.47	29,199,357	31,944,590	91.41	6,606,864	6,339,013	104.23	9,020,937	9,317,011	96.82
7月	50,446,327	44,297,097	113.88	30,632,978	33,468,890	91.53	5,999,519	5,906,375	101.58	11,008,936	12,136,923	90.71
6月	47,021,894	42,977,696	109.41	30,134,939	32,229,512	93.50	5,304,219	5,120,945	103.58	9,526,610	10,728,070	88.80
5月	43,196,234	42,865,711	100.77	25,286,286	32,729,490	77.26	6,207,399	8,196,422	75.73	8,080,465	9,729,706	83.05
4月	44,658,966	45,048,875	99.13	23,645,189	36,135,131	65.44	3,881,577	6,627,627	58.57	8,629,352	12,931,384	66.73
3月	46,098,414	44,260,249	104.15	29,722,901	35,616,727	83.45	7,578,040	9,248,373	81.94	8,534,681	10,599,452	80.52